

令和5年度Sport in Life 推進プロジェクト
スポーツ人口拡大に向けた取組モデル創出事業

姉妹都市提携自治体の親子をつなぐ
オンライン運動あそびと交流事業

令和6年3月8日

日本テレビホールディングス株式会社



構成団体	藤沢市、松本市、Fujisawa SST協議会、株式会社ティップネス、株式会社アールビーズ、
事業のターゲット	①子供・若者 ②働く世代・子育て世代 ③女性
実施フィールド(地域)	神奈川県藤沢市・長野県松本市

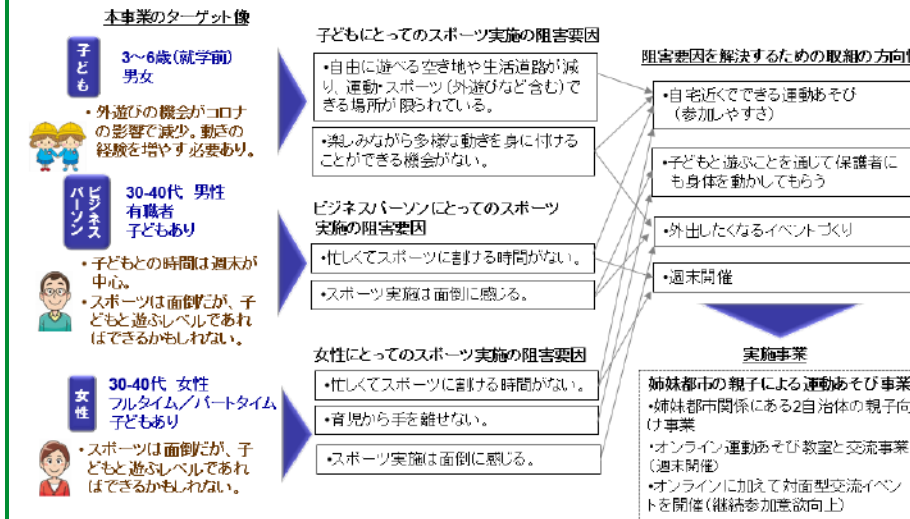
事業内容サマリ	
①	教室プログラムならびに実施体制構築
②	開催場所・スケジュール決定ならびに参加者募集
③	教室開催(10月~1月 全8回)
④	効果検証(アンケート・体力測定実施と効果検証)

事業ターゲット

■本事業のターゲット像

本事業のターゲット	具体像
「子供・若者」(そのうち「子供」)	● 3歳から6歳程度の子ども(男女)
「働く世代・子育て世代」 ならびに「女性」(保護者)	● 30代から40代の男女 ● 子どもがいる有職者 (フルタイムあるいはパートタイム)

■ターゲットのスポーツ実施を促すためのポイント



事業の背景

①オンライン(ICT)活用 ②感染症予防(三密回避) ③地域間交流(異文化交流)

本事業の狙い・実施概要

【本事業の狙い】本事業では、子どもと一緒に週末に遊ぶ時間を充実できることを参加の誘因とし、「運動スポーツ無関心層(「働く世代・子育て世代」「女性」)」とその子どもに運動スポーツ実施機会を提供することを目指した。

【実施概要】本事業では、姉妹都市提携関係にある2つの自治体の親子をオンラインでつなぎ、運動あそびで身体を動かし、互いの街の紹介をするなどの交流事業を実施。実施効果を上げるために、2つの自治体の参加家族が実際に顔をあわせて交流するイベントを期間の前半に行い、以降のオンライン教室で交流を深めてもらった。具体的には神奈川県藤沢市と長野県松本市の家族を対象に1回45分間のオンライン教室を4か月実施し、参加効果を検証した。

事業の全体像



事業概要:ファミリー(3~6歳程度の子どもとその保護者)を対象とした地域間交流(地域自慢対決)&運動あそび教室 <両市をオンラインでつないで実施>



事業実施内容

教室開催の概要

- 実証期間 2023年10月～2024年1月
- 募集数 親子40組程度(3～6歳程度の子どもとその保護者)
- 教室開催頻度 月2回・週末開催(全8回)
 3回目の教室は2つの自治体住民がリアルに対面するイベント形式で実施した

開催した教室の内容

- ▶ 各回、オンラインでの運動あそび教室(30分程度)とオンラインでのコミュニケーションタイム(15分程度 自街の紹介と質問タイム)を行った。
- ▶ 対面型イベントでは、両市の間地点に参加者が集合し、ウォーキングイベントなどを通じて交流を深めてもらった。

本事業の参加者と属性

参加者:親子55組・102人(子ども67人・2～7歳)

参加保護者属性:教室開始時に参加保護者に「最近1ヶ月間に運動やスポーツを実施した日数」ならびに「健康の維持・増進や楽しみ等のために運動やスポーツを行っているか」を聞いたところ、全体の**4割**が「最近1ヶ月間に運動やスポーツを全く実施しない」ならびに「健康の維持・増進や楽しみ等のために運動やスポーツを全く行っていない」と回答した。運動実施頻度が1か月に3日以内のものは全体の**7割**であった。

運動無関心層に身体を動かす機会を提供する、という事業趣旨にあった層の参加を得ることができていた。

最近1ヶ月間に運動やスポーツを実施した日数

		全く実施していない	1ヶ月に1～3日	週に1日以上	週に3日以上	合計
松本	人数	13	8	4	4	29
	割合	45%	28%	14%	14%	100%
藤沢	人数	5	5	4	2	16
	割合	31%	31%	25%	13%	100%
総計	人数	18	13	8	6	45
	割合	40%	29%	18%	13%	100%

健康の維持・増進や楽しみ等のために運動やスポーツを行っているか

		全く行っていない	近いうちに行うつもりだが、今は行っていない	たまに行っているが定期的でない	6か月未満、定期的に行っている	既に6か月以上、定期的に行っている	合計
松本	人数	15	0	9	0	5	29
	割合	52%	0%	31%	0%	17%	100%
藤沢	人数	5	1	6	0	4	16
	割合	31%	6%	38%	0%	25%	100%
総計	人数	20	1	15	0	9	45
	割合	44%	2%	33%	0%	20%	100%

広報展開(募集・事業周知)

募集:案内チラシを自治体に配布してもらうほか、広報誌に参加者募集を掲出してもらい実施した
 (本教室は日本テレビHDと自治体の共催で実施した)

広報:①本事業の初回教室の様子をテレビ信州に取材してもらい、当日のニュースとして報道してもらった。
 ②日本テレビHDのHPに活動状況を定期的にアップした。

参加者募集チラシ



広報ふじさわ

第1759号 2023年(令和5年)9月10日

◆親子運動あそび教室

10月15日(日)、10月28日～2024年1月27日毎月第2・4土曜日午前9時15分～10時、全8回。Fujisawa SSTウェルネススクエア南館。松本市の親子とオンライン交流あり。講師=(株)ティップネス社員。3～6歳程度の子と保護者20組。☎9月15日(金)午前9時から下記の2次元コードから。📺日本テレビホールディングス(株)✉asobi@ntv.co.jpまたはスポーツ推進課☎内線6767、FAX(50)8433。



日本テレビHDのHPでの活動報告等(全4回)

<https://www.ntvhd.co.jp/wellness/undobu/news/3742lxwvfnpkx3peahj8.html>

スポーツ庁公募事業採択決定！藤沢⇄松本オンライン市民交流事業の実施について

<https://www.ntvhd.co.jp/wellness/undobu/news/3742wcw0lbsj1u6wlnk6.html>

藤沢⇄松本オンライン市民交流事業 スタートしました！

<https://www.ntvhd.co.jp/wellness/undobu/news/37428foe3m6conw65bjp.html>

藤沢⇄松本オンライン市民交流事業 オンサイトイベントを実施しました！

<https://www.ntvhd.co.jp/wellness/undobu/news/3742zcx2uvud9mxxap41.html>

姉妹都市親子オンライン交流事業 終了しました！

効果検証の方法と結果 <教室満足度と継続参加意向>

参加保護者のアンケート結果

教室終了時に教室に関するアンケート回答を参加保護者に依頼し、28名から回答を得た。その結果を以下に示す。

①教室の満足度

教室の満足度を聞いたところ全体の評価は「満足」「やや満足」合計で**93%**と高い評価を得ることができた。

「参加して難しいと感じたこと」としては下記の声などをいただいた(自由記述)。

- 子どもが恥ずかしがりやで交流会が苦手だった
- 相手の市とやりとりする時、子どもが中々興味が向かないようだった(女兒・4歳)
- オンラインのクイズなどはあまり理解ができていないようだった(女兒・3歳)
- 子どもが飽きてしまったり下の子(3歳)が走り回ってしまう点
- 慣れて参加するまで少し時間がかかった(2名)
- 2歳半の子どもには大人のマネをするのは早かったようだったが、本人は喜んで参加していた。
- 毎回子供たちが楽しんで参加していた(2名)
- 私(親)自身運動に苦手意識があったが、楽しく参加できた。

教室の満足度

単位：人

選択肢	松本		藤沢		合計	
	選択者	選択割合	選択者	選択割合	選択者	選択割合
満足	10	56%	4	40%	14	50%
やや満足	6	33%	6	60%	12	43%
普通	2	11%	0	0%	2	7%
やや不満	0	0%	0	0%	0	0%
不満	0	0%	0	0%	0	0%
小計	18	100%	10	100%	28	100%

効果検証の方法と結果 <教室満足度と継続参加意向>

②教室の継続参加意欲

今後も本教室への参加を希望するかを聞いたところ、「参加を希望する」が全体で**86%**と高い結果となった。「希望しない」はいなかった。

「どちらともいえない」の理由

- 道具を使った運動を増やしてほしい
- また教室があればぜひ参加したい(※「する」回答者)

教室継続参加意欲の高さが確認された。

今後も本教室への参加を希望するか

単位：人

選択肢	松本		藤沢		合計	
	選択者	選択割合	選択者	選択割合	選択者	選択割合
する	15	83%	9	90%	24	86%
どちらともいえない	3	17%	1	10%	4	14%
しない	0	0%	0	0%	0	0%
小計	18	100%	10	100%	28	100%

効果検証の方法と結果 <スポーツ実施者の増加効果>

(1)効果検証方法

教室終了時に教室に関するアンケート回答を参加保護者に依頼し、スポーツ実施者の増加効果を検証した。

(2)効果検証の結果

「教室参加を通じて親子で運動するようになったか」を聞いたところ、「なった」「ややなった」合計で全体の**75%**であった。保護者の半数程度が運動無関心層であったが、全体の2/3程度の親子が身体を動かす機会が増えたことが確認できた。

「今後も運動を定期的に行いたい」を聞いたところ、「そう思う」「ややそう思う」合計で全体の**92%**であり、保護者の運動継続意欲が確認できた。

教室参加を通じて親子で運動するようになったか

単位:人

選択肢	松本		藤沢		合計	
	選択者	選択割合	選択者	選択割合	選択者	選択割合
なった	4	22%	2	20%	6	21%
ややなった	9	50%	6	60%	15	54%
どちらともいえない	5	28%	2	20%	7	25%
ややならなかった	0	0%	0	0%	0	0%
ならなかった	0	0%	0	0%	0	0%
小計	18	100%	10	100%	28	100%

今後も運動を定期的に行いたい

単位:人

選択肢	松本		藤沢		合計	
	選択者	選択割合	選択者	選択割合	選択者	選択割合
そう思う	8	50%	6	60%	14	54%
ややそう思う	6	38%	4	40%	10	38%
どちらでもない	1	6%	0	0%	1	4%
あまりそう思わない	0	0%	0	0%	0	0%
全くそう思わない	1	6%	0	0%	1	4%
小計	16	100%	10	100%	26	100%

未記入2名

結果に基づく要因の分析(仮説検証)

終了時アンケートで教室の良さ、運動実施意欲向上につながったものを保護者に回答してもらい、スポーツ実施者の増加につながった要因を分析した。

ア)本教室の良さとして感じるもの

本教室の良さとして感じるものを複数選択可で聞いたところ、「親子で参加できる」「手軽に参加できる」「楽しく参加できる」がいずれも8割を超えており、「親子」「手軽」「楽しい」という教室のコンセプトが支持される結果になった。

自由記述欄で、運動が苦手な親子でも楽しく参加できた、というコメントが複数記載されていたことから、「運動が苦手でも参加できる」の要因も重要であると考えられた。

イ)運動実施意欲向上につながったもの

「運動実施意欲向上につながったもの」を複数選択可で聞いたところ、「親子での運動あそび」と「山梨イベント」が9割超と多かった。自由記述欄でも「山梨でお友達ができで以降、子どもの参加意欲が向上した」等の記述が複数あった。

「週末開催」の教室であったことも4割の保護者が支持していた。

「親子教室」「手軽さ」「楽しさ」が、特に運動無関心層のスポーツ実施増加につながる要因であると推測された。

教室の良さとして感じるもの(複数回答)

		楽しく参加できる	手軽に参加できる	親子で参加できる	運動が苦手でも参加できる	その他
全体	回答数	20	21	22	13	
	回答割合	80%	84%	88%	52%	
松本	回答数	13	15	15	10	1
	回答割合	81%	94%	94%	63%	
藤沢	回答数	7	6	7	3	
	回答割合	78%	67%	78%	33%	

時間がちょうどよい

運動実施意欲向上につながったもの(複数回答)

		親子での運動あそび	山梨イベント	他市との交流	週末開催の教室	その他
全体	回答数	23	15	7	10	
	回答割合	92%	94%	28%	40%	
松本	回答数	16	6	3	6	
	回答割合	100%	86%	19%	38%	
藤沢	回答数	7	9	4	4	
	回答割合	78%	100%	44%	44%	

山梨イベントに参加した回答者は松本7名・藤沢9名

結果に基づく要因の分析(仮説検証)

ウ)教室に参加した子どもたちの様子

「お子さんは教室に参加するのを楽しみにしていたか」を保護者に聞いたところ、「とても当てはまる」「やや当てはまる」合計で全体の**85%**が、子どもが教室参加を楽しみにしていたと回答した。子どもと楽しい時間を過ごしてもらうことで運動無関心層の運動機会を向上するということが本事業の仮説であったが、その妥当性が示唆される結果となった。

教室で印象に残った事項など ※自由記述欄より抜粋

- お手玉が好きになり祖母宅でもやっていた。
- 家で教室でやった体操をやっていた。毎回「楽しい」と言って参加していた。
- おんぶしてもらって走ったのが楽しかったと話していた
- 3歳の子がジャンプをするのが上手になった
- 広い会場で体を動かすのが楽しそうだった
- 相手の市との交流に思ったより自分から行くようになり驚いた。
- 初めての場所が苦手だったが、みんなで身体を動かすことで早く場に溶け込んでいた
- 山梨での交流はすべて「楽しかった」と話していた。相手の市に興味を持ったようだ。
- 音楽にあわせて踊ることが楽しそうだった
- あまり運動が得意でない子どもだが、教室を通じて楽しめるようになった。

お子さんは教室に参加するのを楽しみにしていたか

単位：人

選択肢	松本		藤沢		合計	
	選択者	選択割合	選択者	選択割合	選択者	選択割合
とても当てはまる	8	50%	4	44%	12	57%
やや当てはまる	4	25%	3	33%	7	28%
どちらでもない	3	19%	0	0%	3	12%
あまり当てはまらない	1	6%	2	22%	3	12%
全く当てはまらない	0	0%	0	0%	0	0%
小計	16	100%	9	100%	25	100%

未記入2名

未記入1名